

## 女子大生のピアスに対する意識と人生観

金子 智栄子\*・桜井 礼子\*\*

### Abstract

Of the 169 female undergraduates who were examined regarding their sense of life and a pierced earring, it is expected that more than 60 percent of them will have a pierced earring. One of the reasons can be that their parents tend to permit a pierced earring.

There are rumors that a pierced earring tends to change one's fate and an odd number is considered good with regard to the number of holes. Some of them think that the pierced earring brings about an improvement in one's fortune and self-change.

It is thought that students who have a pierced earring want to live a colorful life. A pierced earring at junior and senior high schools is a violation of the school regulations. The person without a pierced earring has more to do with the right way of living than the person with a pierced earring.

**Key Words** : a pierced earring, improvement of fortune and self-change, colorful life

### 〔はじめに〕

ピアッシング (piercing) という行為は、最近、わが国でもファッションとして定着してきた。ピアッシングの身体部位は、耳だけでなく、鼻、唇、へそなどにもいたっている。特に耳たぶに穴を開けて純金を埋め込む留め金のないイヤリングは「ピアス・イヤリング (a

---

#### The Senses of Life and a Pierced Earring in Female Undergraduates

\*Chieko Kaneko \*\*Reiko Sakurai (Udo Kindergarten)

Correspondence Address: Faculty of Human Studies, Bunkyo Gakuin University,  
1196 Kamekubo, Oimachi, Iruma-Gun, Saitama 356-8533,  
Japan.

Accepted October 27, 2004.

Published December 20, 2004.

pierced earring)』と呼ばれ、「ピアス」と略されている（現代用語の基礎知識，2004）。ピアスの装着は女性ばかりでなくある種のタイプの男性にも広がり，児童や幼児のような子どもにおいてもピアスをしているのを見かけるようになった。デパートのイヤリング売場でもピアス以外のイヤリングを見つけることの方が難しいくらいである。世間一般にピアスの装着を許容するようになってきた。

以前は，ピアスは少しつっぱった不良が行うものと考えられていた。今でも，わが国のほとんどの中学校や高等学校でピアスは禁止されている。耳に穴を開けるといシーンは痛そうで，何か見てはいけないものを見てしまったような気にさせる。また，親から授かった身体に傷をつけるということに罪悪感を感じさせるものもある。

ピアスをする理由としてファッション性をあげる人が多いが，単に身体を飾るためならば，留め金のあるイヤリングでも充分と思われる。磁石式の留め金のないイヤリングもある。また，穴を開けた後は消毒が必要となるなど手間もかかる。では，なぜ人は身体を毀損して痛い思いまでして，面倒なピアスをするのであろうか。

ここで，ピアスをしたことで心理的にも行動的にも変化が生じた21歳の女子大生の例を紹介したい。もともと明るくまじめだったが，ピアスをする前はあまり目立つ方ではなかった。

「高校の頃からピアスに憧れていて，今の自分を変えたいという願望を常に抱いていた。そして，高校を卒業してから思い切ってピアスのために耳に穴を開けた。その後，服の趣味がガラッと変わって明るく派手になり，にぎやかな友達とつきあうようになった。自由で解放的になり，今までやりたいと思ってもできなかったことを平気のできるようになった。自分らしく振る舞えるようになり，良いことが続いた。たとえ嫌なことが続いたとしても，以前開けた穴をふさいで新たに別の場所に穴を開ければまた良いことが起こる。自分でもこんなにも運命が変わるとは予想していなかった。」

本人は，ピアスをして良いことが起こったと確信しており，思い切って耳に穴を開けてよかったと喜びを隠しきれない様子だった。

ピアスをしている女子大生16人に，ピアスをしたきっかけやその後の自分の変化についてインタビューしてみた。回答内容の概要を表1にまとめた。ピアスをした理由としてファッション性の他に，高校卒業の区切り・校則への反発，興味，気分転換，開運，自己発見・自己変革があげられていた。

表1 ピアスをしている女子大生へのインタビュー内容（きっかけや自己変化）

<p>1) 高校卒業の区切り・校則への反発</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高校卒業時に，人生の一つの区切りとして開けた。</li><li>・高校の時は校則が厳しくて開けられなかったので，卒業してから開けた。今ピアスを開けてよかったと思っている。</li><li>・すごく勇気がいったけど，新しい自分になれた気がする。高校の時は厳しくて，その反動で5つ開けた。しかし，冷静に考えるとそんなに開けなくても良かったと思う。</li></ul>
--

<p>2) 興味</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1年の時に、興味本位に開けた。</li> </ul> <p>3) 気分転換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気分を変えたかった。</li> <li>・小学校の時に、ファッションや反抗というわけではなく、気分転換に母と開けに行った。今は一つの楽しみができた感じ。ピアスのことを大きく考えすぎている人が多い気がする。</li> </ul> <p>4) 開運</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアスの穴を開けてから良いことばかりが続いた。男性運が良くなった。</li> <li>・嫌なことが起きるとそのたびに穴を増やしたくなる。</li> <li>・もし穴を開けてから嫌なことがあったら、その穴を閉じ別の場所に穴を開ける。</li> </ul> <p>5) 自己発見・自己変革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな自分が出た。</li> <li>・「殻」を一枚破ったような気持ちで、何となく前向きで明るい気持ちになれた。</li> <li>・自分自身に対して自信がついた。</li> <li>・何か人と違ったことをしたかった。</li> <li>・前向きになれた。ピアス選びが楽しい。</li> </ul> <p>6) ファッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃれの幅が広がった。後悔はしていない。</li> <li>・気分が明るくなったり、ファッション的にも楽しむことができる。</li> </ul>
---

ピアスをしない女子大生6人にもインタビューして、ピアスをしない理由をたずねた。表2より、ピアスをしない理由として、痛みへの不安や身体を傷つけることへの抵抗感があげられ、その他に、親に禁止されたり、社会的評価が低下することを懸念したりといった周囲からの圧迫を感じている面がある。さらに、自己変容を避けるためにピアスをしないこともあることがうかがわれる。

**表2** ピアスをしていない女子大生へのインタビュー内容（ピアスをしない理由）

<p>1) 痛み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアスをしなくても他の方法でおしゃれはできるし、痛い思いをしてまでしたいと思わない。</li> <li>・ファッションとして開けたいと思うが、痛そうで開けられない。</li> </ul> <p>2) 身体を傷つける抵抗感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開けたい気持ちはあるが、自分の身体に穴を開けるということに抵抗がある。</li> </ul> <p>3) 親の反対・社会的評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職の時に、ピアスはよくない評価をされるから、親に開けるなど言われている。</li> <li>・親に反対されている。親の反対を押し切って穴を開けて親を悲しませたくない。親から精神的に離れられていないと自分でも思う。</li> </ul> <p>4) 自己変容の回避</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を少しでも変えたいという気持ちから開けたいと思う。それでも、今まで開けていないのは、変わりたいけど変わりたくないという気持ちがあるからだと思う。</li> </ul>
--

インタビューを通して、ピアスという「自分の耳に穴を開ける」という自虐的な行為の中に

は、「今の自分を変えたい」「親などの周囲の人たちの価値観にとらわれたくない」「自分を解放したい」「自由に生きたい」などというメッセージが隠されており、過去の自分との決別を意味しているようにも思える。ピアスによる自己変容を期待する心情は、一つの生き方にこだわることなく多様な価値観をもって生きたいという人生観と関連すると考える。一方、このような自由な生き方は、道徳や秩序などのいわゆる社会的規範を軽視することにもなりかねない。

そこで、本研究では女子大生のピアスに対する意識、ピアスの装着の有無による人生観の相違などを検討する。

## 〔方 法〕

〈調査日〉 2002年7月15日

〈対象者〉 本学の女子学生169名（1年次：158人，93.5%，4年次：11人，6.5%）（18歳：114人，67.5%，19歳：44人，26.0%，21歳：11人，6.5%）。教官が立ち会いのもと無記名で回答させた。

〈調査内容〉

### 1. ピアスに対する意識

筆者らと4年次女子学生11人とで協議して選択式の質問紙を作成した。アンケート内容を次に示す。「その他」を選択した者は、具体的内容を自由に記述させた。

- 1) 『ピアスに関する噂』について、「運命が変わる，運気が上がる，自分に自信がつく，穴の数は奇数がいい，その他」の中から複数を選択させた。
- 2) 『ピアスをしているか』について「はい・いいえ・以前していた」のうち1つを選択させた。
- 3) ピアス群（「はい」の選択者）に対して
  - (1) ピアスをした理由：「興味があった 運気を上げたかった，ファッション性，その他」から複数を選択させた。
  - (2) ピアスをした時期：「小学生，中学1年，中学2年，中学3年，高校1年，高校2年，高校3年，大学1年，大学2年，大学3年，大学4年」の中からいずれか1つを選択させた。
  - (3) ピアスをした時の親の態度：「賛成，反対，何も言わなかった（黙認）」の中から1つを選択させた。
  - (4) ピアッシングの身体部位：「口，耳，鼻，へそ，その他」の中から複数選択。
  - (5) ピアッシングの数を自由に記述させた。
  - (6) ピアスをしたことでの変化：「性格が明るくなった，良いことがあった，前向きになれた，特に何も無い，その他」の中から複数を選択させた。

4) 非ピアス群(「いいえ」「以前していた」の選択者)に対して

- (1) 今ピアスをしていない理由:「興味がない, 痛そう, 運気が下がりそう, 面倒, 親が反対, その他」の中から複数を選択させた。
- (2) 将来ピアスをする可能性:「将来ピアスをしようと思う, 思わない, わからない」から1つを選択させた。

## 2. 人生観尺度

辻岡・村山(1975)より, 多彩的人生観を7項目(表13参照), 道徳的人生観を6項目(表14参照)を用いて, 「思う(4)~思わない(1)」の4段階で評定させた。多彩的人生観とは, 一つの生き方にこだわることなく, 限りない将来の挑戦に価値をみいだそうとする生き方である。また, 道徳的人生観とは, 秩序, 道徳, 法律などの社会的規範を守り, 礼儀, 慎み, 理性をもって物事に対応しようとする生き方である。

## 〔結果と考察〕

### 1. ピアスに関する意識・態度など

1) 『ピアスに関する噂』について

頻度と%を表3に示す。『ピアスの噂』は, 「穴の数は奇数がいい(114人, 67.5%)」「運命が変わる(43人, 25.4%)」「運気が上がる(35人, 20.7%)」などで, やはり, ピアスは好運をもたらすという噂があるようである。

表3 ピアスに関する噂(複数回答) N (%)

	噂	運命が変わる	運気が上がる	自分に自信がつく	穴の数は奇数がいい	その他
ピアス群(78人中の%)	23(29.5)	22(28.2)	0(0.0)	59(75.6)	19(24.4)	
非ピアス群(91人中の%)	20(22.0)	13(14.3)	3(3.3)	55(60.4)	33(36.3)	
計(169人中の%)	43(25.4)	35(20.7)	3(1.8)	114(67.5)	52(30.8)	

2) 『現在ピアスをしているか』について

表4より, 「はい」は78人(46.2%), 「以前していた」は9人(5.3%)で, 51.5%がピアスをしたことがあった。

表4 現在ピアスをしているか N (%)

はい	いいえ	以前していた	計
78(46.2)	82(48.5)	9(5.3)	169(100.0)

3) ピアス群（『現在ピアスをしているか』で「はい」と回答した78人）

(1) ピアスをした理由

表5より、『ピアスをした理由』は、「ファッション性（59人，75.6%）」「興味があった（45人，57.7%）」「運気を上げたかった（5人，6.4%）」「その他（9人，11.5%）」だった。「その他」の記述には、自分を変えたいという内容が4人，腹いせが3人いた。

**表5** なぜピアスをしようと思ったか（複数回答）

N（ピアス群78人中の%）			
興味があった	運気を上げたかった	ファッション性	その他
45(57.7)	5(6.4)	59(75.6)	9(11.5)

(2) ピアスをした時期

表6より、『ピアスをした時期』は、「高校」は40人（51.3%）、「大学」は33人（42.3%）で、高校時代にピアスをする者が半数を占めている。

**表6** いつ頃からピアスをし始めたか

N（ピアス群78人中の%）								
小学生	中1	中2	中3	高1	高2	高3	大学1	計
1(1.3)	0(0)	0(0)	4(5.1)	12(15.4)	6(7.7)	22(28.2)	33(42.3)	78(100.0)

(3) ピアッシングの身体部位

表7より、『場所』は、ほとんどが耳（77人，98.7%）で鼻が2人，へそが1人である。

**表7** ピアスの身体部位（複数回答）

N（ピアス群78人中の%）		
耳	鼻	へそ
77(98.7)	2(2.6)	1(1.3)

(4) ピアッシングの数

表8より，1個から3個の人が73人で93.6%を占めている。2個が52.6%と最も多いが，イヤリングという特徴が影響していると考えられる。

**表8** ピアッシングの個数

N（ピアス群78人中の%）							
1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個	計
12(15.4)	41(52.6)	20(25.6)	0(0.0)	3(3.8)	1(1.3)	1(1.3)	78(100.0)

## (5) ピアスをした時の親の態度

表9より、「賛成」が31人（39.7%）、「何も言わなかった（黙認）」が31人（39.7%）で、消極的賛成を含めると79.4%が許容していた。

**表9** ピアスをした時の親の反応  
N（ピアス群78人中の%）

賛成	反対	何も言わなかった	計
31(39.7)	16(20.5)	31(39.7)	78(100.0)

## (6) ピアスをしたことでの変化

表10より、「特に何も無い」が52人（66.7%）だったが、「前向きになれた」が11人（14.1%）、「良いことがあった」が8人（10.3%）、「性格が明るくなった」が3人（3.8%）である。1割以上は好ましい変化があったことがわかる。

**表10** ピアスをしたことでの変化（複数回答） N（ピアス群78人中の%）

性格が明るくなった	良いことがあった	前向きになれた	特に何も無い	その他
3(3.8)	8(10.3)	11(14.1)	52(66.7)	12(15.4)

## 4) 非ピアス群（「いいえ」「以前していた」と回答した91人）

## (1) 今ピアスをしていない理由

表11より、『しない理由』は、「痛そう（56人，61.5%）」「面倒（22人，24.2%）」「興味がない（15人，16.5%）」「親が反対（15人，16.5%）」「運気が下がりそう（2人，2.2%）」「その他（27人，29.7%）」である。「その他」の主な理由はアレルギーだった。

**表11** ピアスをしていないのはなぜか（複数回答）  
N（非ピアス群91人中の%）

興味がない	痛そう	運気が下がりそう	面倒	親が反対	その他
15(16.5)	56(61.5)	2(2.2)	22(24.2)	15(16.5)	27(29.7)

## (2) 将来ピアスをする可能性

表12より、『将来しようと思うか』は、「思う」が30人（33.0%）でピアスをする可能性が高く、「思わない」が34人（37.4%）、「わからない」が27人（29.7%）である。

表12 将来的にピアスをしようと思うか

N（非ピアス群91人中の%）

思う	思わない	わからない	計
30(33.0)	34(37.4)	27(29.7)	91(100.0)

## 2. 人生観の相違について

### 1) 多彩的人生観

1項目あたりの平均値と標準偏差を表13に示す。ピアス群と非ピアス群とでt検定を行った。ピアス群の平均値は3.50で、非ピアス群の3.38よりも $p < .05$ で有意に高い。項目ごとの分析では「自分の人生の中では多元主義を貫きたい」が $p < .01$ 、「変化に富んだ人生を送りたい」が $p < .10$ で、ピアス群の方が有意に高い。ピアス群の方が多彩な人生観をもっていることがわかる。

	全体 (169人)	ピアス群 (78人)	非ピアス群 (91人)
①人は人、自分にあった生き方をしたい。	3.79(.47)	3.79(.47)	3.79(.48)
②ひとつのことに片寄って生きたくない。	3.43(.73)	3.51(.62)	3.36(.81)
③どんな生き方もそれ自身意味のあることだと思う。	3.61(.61)	3.64(.60)	3.58(.62)
④特定の生き方にはまらず柔軟な生き方をしたい。	3.60(.60)	3.62(.56)	3.59(.63)
⑤人にはいろいろな生き方があって当然だと思う。	3.93(.35)	3.97(.16)	3.89(.46)
⑥変化に富んだ人生を送りたい。	2.83(.86)	2.96(.89)	> + 2.73(.82)
⑦自分の人生の中では多元主義を貫きたい。	2.83(.74)	3.00(.74)	> ** 2.68(.72)
合計	3.44(.36)	3.50(.32)	> * 3.38(.37)

\* \*\*… $p < .01$  \*… $p < .05$  +… $p < .10$

### 2) 道徳的人生観

ピアス群と非ピアス群とでt検定を行った。表14より、1項目ごとの分析で「何事にも自己規制が必要である」のみに有意差が得られ、ピアス群の方が非ピアス群よりも高く、これは予想に反するものだった。そこで、中学・高校時代にピアスを装着して校則に違反した者は、社会規範を尊重する道徳的な生き方を望まないと考えた。高校3年でピアスをした者の中には卒業を待って耳に穴を開けた者が含まれていると考え、ピアス群の中で、高校2年生までにピアスをした23人を「校則違反群」、大学生時代にした33人を「校則遵守群」とした。t検定結果を表15に示す。違反群が $p < .10$ で遵守群よりも有意に低く、項目ごとの分析では、「何事にも自己規制が必要である」が $p < .10$ で、違反群の方が有意に低い。統計的に有意とは言えないが、校則に違反する者は道徳的人生観を軽視する傾向があることがうかがわれる。

	全体 (169人)	ピアス群 (78人)	非ピアス群 (91人)
①世の中の秩序に従って生きたい。	2.73(.71)	2.76(.72)	2.70(.71)
②礼儀を重んじて生きて行きたい。	3.46(.60)	3.53(.57)	3.40(.61)
③私情を捨て自制しながら生きて行きたい。	2.07(.76)	2.17(.83)	1.98(.70)
④社会の変化は急激にではなく慎重に行ってほしい。	3.04(.87)	2.94(.89)	3.12(.85)
⑤自分は社会の秩序に従って生きて行きたい。	2.70(.72)	2.71(.76)	2.68(.70)
⑥何事にも自己規制が必要である。	3.20(.73)	3.32(.67)	>* 3.10(.76)
合計	2.86(.48)	2.90(.46)	2.83(.49)

\*…p<.05

	違反群(23人)	遵守群(33人)
①世の中の秩序に従って生きたい。	2.65(.78)	2.85(.71)
②礼儀を重んじて生きて行きたい。	3.52(.73)	3.61(.50)
③私情を捨て自制しながら生きて行きたい。	2.00(.67)	2.24(.90)
④社会の変化は急激にではなく慎重に行ってほしい。	2.87(.97)	3.00(.83)
⑤自分は社会の秩序に従って生きて行きたい。	2.61(.78)	2.85(.71)
⑥何事にも自己規制が必要である。	3.04(.82)	<+ 3.39(.61)
合計	2.78(.48)	<+ 2.99(.43)

+…p<.10

### 〔まとめと吟味〕

ピアス群は169人中78人(46.2%)で、将来ピアスをする可能性が高い30人を加えると108人(63.9%)となり、女子大生の6割以上はピアスをする予想され、親もピアスを許容する傾向がある。ピアスは運命を変え、穴の数は奇数が良いなどの噂があり、ファッションという身体の表面的変化だけでなく、開運や自己変容をもたらすと考える者がいる。実際に、ピアスによる開運を認識した者が1割以上いる。さらに、ピアス群は多様な人生を送りたいと願っており、校則違反群者は、規則や秩序を守って道徳的に生きようとする意識が低い傾向がある。ピアスをするという行為には人生観が関与し、ピアスによって好運を期待する心情には、青年女子の不安定な精神状態が現われているように感じる。

身体を傷つけて装飾を施すものに刺青がある。現代の若者に流行していると言われる。斉藤(1999)によると刺青に関心をもった年齢は13歳から18歳で71%を占め、彫りたいと思う年齢は16歳から20歳までに多い。法的規制があるためか、施術した年齢は20歳前後となっている。刺青には呪術などの文化的風土的なものが関連しているが、誓い、決意、自己改革などの自己確立をめざす青年期的な精神特徴も関与していると考えられる。刺青とピアスを共通させて考えるのは極端過ぎると思うが、両方とも不良の行為と考えられ、どのような気持ちで身体を傷つけ

女子大生のピアスに対する意識と人生観（金子智栄子・桜井礼子）

るのかは想像にたよっていたと考えられる。不良的行為の中にはそうせざるをえない深刻な心情が左右しており，行為の背景に焦点を当てて心理面を考察することで現代青年をより理解したいと考える。

#### 〔引用・参考文献〕

1. 現代用語の基礎知識 2004 自由国民社, p.1324.
2. 齊藤卓志 1999 刺青 岩田書院, pp.222-227.
3. 辻岡美延・村山繁 1975 価値観の六次元—因子的真実性の原理による尺度構成— 関西大学社会学部紀要7, pp.161-174.
4. 鷺田精一 1998 人はなぜ服を着るのか NHK出版